

2017-B

VI74B

拠出金・基金
の名称

国際再生可能エネルギー機関拠出金

種 別

 イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際再生可能エネルギー機関(IRENA)

【所管官庁担当局課・室名】

農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ/大臣官房政策課環境政策室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

IRENAが普及を目指す途上国等のバイオエネルギー・システムに、食料供給と両立する持続可能なバイオマス利活用システムを導入することを目指し、プロジェクト実施者及び現地政策担当者向けのガイドラインの作成、ワークショップ等を実施。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	8,064	73	-	1ドル=110円	0
平成28年度	9,773	81	-	1ドル=120円	0
平成27年度	22,827	208	-	1ドル=110円	0

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

現在、IRENAでは2030年に向けた再生可能エネルギーの割合を倍増させる目標の道行きを詳しく分析し、途上国等への支援を中心として、バイオマス利活用の普及に努めている。我が国は、食料供給と両立するバイオマス利活用の推進を主張しており、当該任意拠出金を通じてIRENAによるガイドラインの作成、ワークショップ等を支援することにより、IRENAと連携して途上国等に食料供給と両立するバイオマス利活用を推進できる意義は大きい。

我が国は、IRENA理事国として、総会・理事会への積極的な関与やIRENA幹部職員との意見交換を通じ、我が国の拠出目的がその運営に十分反映されるよう努めており、IRENAの理事会等の報告書の中でもバイオエネルギーの普及と食料安全保障や環境保全を両立することの重要性が明確にされたことは、我が国の任意拠出金等による成果と評価できる。

【備考】